事業概要 2019

Outline Of Project

国土交通省 東北地方整備局

能代河川国道事務所

Noshiro Office of River and National Highway



森吉山ダム広報館
来訪者１０万人達成



二ツ井今泉道路安全祈願祭



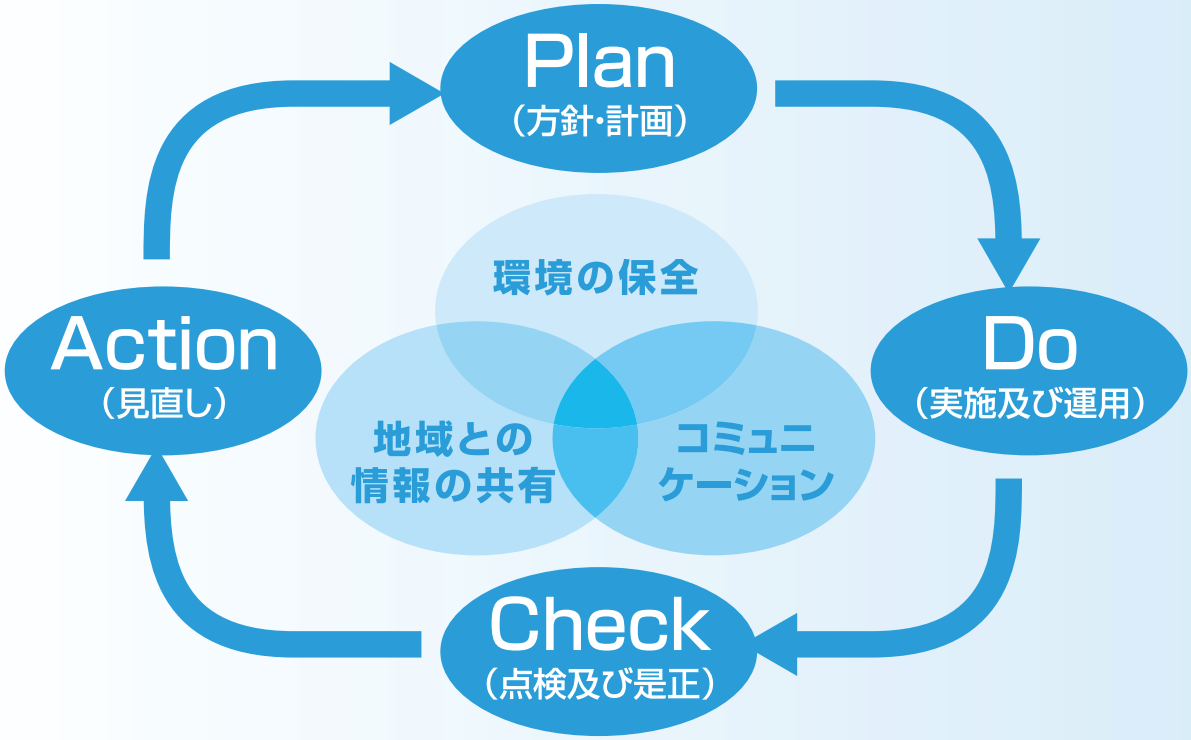
二ツ井きみまち地区かわまちづくり



事務所のとりくみ

能代河川国道事務所の目標・指針

川づくり、道づくりを通じて、「強く美しい秋田県北地域の創造」を支援していきます。



「環境の保全」、「コミュニケーション」、「地域との情報の共有」という3つの柱を基にして、Plan（方針・計画）、Do(実施・運用)、Check（点検・是正）、Action(見直し)という継続的なプロジェクトマネジメントを行い「川づくり」「道づくり」を通じて、「強く美しい秋田県北地域の創造」を支援していきます。

もくじ

事務所概要

事務所のとりくみ …… 1
秋田県北地域のすがた …… 2
事務所の沿革・予算・組織 …… 3

河川事業

河川事業の目的 …… 4
米代川河川改修事業 …… 5
河川調査 …… 7
河川管理 …… 8
森吉山ダムの管理 …… 9
森吉山ダムのはたらき …… 10

道路事業

道路事業の目的 …… 11
二ツ井今泉道路、現道活用区間、能代地区線形改良 …… 12
一般国道７号 白沢跨線橋、大曲歩道整備 …… 13
一般国道７号 鷹巣大館道路の整備効果 …… 14
道路調査 …… 15
道路管理 …… 16

情報提供

情報提供についての取り組み …… 19

地域

地域とのコミュニケーション …… 19

出張所

出張所の紹介 …… 20

防災対策

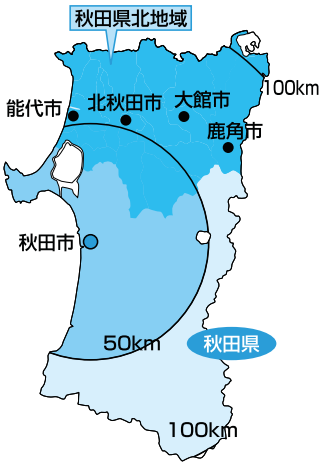
防災対策への取り組み …… 22

その他

その他の取り組み紹介 …… 24
能代河川国道事務所ホームページ …… 25
地域の情報発信 …… 26

秋田県北地域のすがた

秋田県北地域は大館、鷹巣、花輪の3つの盆地と能代平野、4市4町1村の全9市町村から構成され、県面積の38%の4,400㎢、人口は約23万人で秋田県全人口の約22%を占めています。北西部に世界遺産に登録されている白神山地が広がり、東西を米代川が流れるなど自然豊かで伝統・文化が息づく地域です。



世界自然遺産「白神山地」に抱かれた秋田県北地域



■ 世界自然遺産・白神山地

（平成5年12月世界遺産登録）

豊かなブナ原生林は多くの動植物を育み、ツキノワグマやニホンカモシカといった大型の哺乳類やクマゲラなどの鳥類が生息しています。またブナ原生林が湛える水は周辺住民の水源として昔から使われており、人々の生活とも関わってきました。白神山地はその周辺に住む人々や動植物にとって源であり、象徴だといえます。



はちもり観光市
八森沖で捕れた新鮮な魚介類などを販売しています。ハタハタの季節はその味を求め多くの人々で賑わいます。



峨瓏大滝
春は新緑、夏は清涼で秋は紅葉、冬は凍りついた滝となり、四季折々の顔を持つ人気スポットとなっています。



綴子大太鼓
平成元年に直径3.71mの大太鼓がギネス登録されており、北秋田市内では「たかのす大太鼓まつり」や「綴子神社例大祭」などが開催されます。



大館市観光交流施設「秋田犬の里」
2019年5月8日より、大館市に「秋田犬の里」がオープンします。愛犬とくつろげる2774平方メートルの広場のほか、112台分の駐車場も完備しています。



大館アメッコ市
通りは枝アメで華やかに飾り付けられ、「白髭大神巡行」などの催し物なども行われます。
H29年 観光客数約11万人

観光客数は平成29年秋田県観光統計より
空港利用者数は平成30年度大館能代空港利用状況より
能代港取扱量は平成29年港湾統計より



能代七夕「天空の不夜城」
夏の夜空に浮かび上がる大型灯籠が街を練り歩く姿は見る者を圧倒します。
H29年 観光客数約20万人



発荷峠展望台
十和田八幡平国立公園十和田湖は秋田県と青森県の境に位置し、日本の湖沼では12番目の面積の淡水湖です。発荷峠展望台は十和田湖の南岸に位置し、十和田湖の美しい情景を眺望できます。



能代港
H29年 取扱量約322万t（うち約8割が石炭）
能代港～能代南IC　約7.1km　約8分



サンドクラフト in みたね
日本海に面した三種町の恵まれた自然を生かし、環境省認定日本の快水浴場100選の釜谷浜海水浴場で繰広げる、砂像制作展示イベントです。
H29年 観光客数約4万人

大館能代空港（H10開港）
H30年 利用者数約14.7万人
（H30年3月21日 大館能代空港IC直結）



コブ杉
上大内沢自然観察教育林内にある奇形のスギで、林野庁の「森の巨人たち100選」に選ばれています。大人の背丈ほどのところから幹がコブ状に盛り上がっており、独特な様相を呈しています。

森吉山ダム樹氷
森吉山ダムが位置する北秋田市の森吉山は、日本三大樹氷観賞地（森吉山、蔵王連邦、八甲田山）のひとつです。森吉山阿仁スキー場ゴンドラ山頂駅舎から徒歩5分で幻想的な風景が見られます。



鹿角花輪ばやし
日本三大ばやしに挙げられ、幸稲荷神社の祭礼ばやしとして現在に伝わっています。
H29年 観光客数約26万人

■ 秋田県北地域の面積・人口・高齢化率

市町村名	面積(km²)	人口(人)	高齢化率(%)
能代市	426.95	54,275	38.5%
三種町	247.98	17,084	41.1%
八峰町	234.14	7,361	43.4%
藤里町	282.13	3,374	45.3%
大館市	913.22	73,632	37.1%
北秋田市	1,152.76	32,837	41.8%
上小阿仁村	256.72	2,375	50.2%

市町村名	面積(km²)	人口(人)	高齢化率(%)
鹿角市	707.52	31,604	37.7%
小坂町	201.70	5,235	42.8%
秋田県北地域	4,423.12(38%)	227,777(22.4%)	39.1%
秋田県	11,637.52	1,015,057	35.0%

面積は平成30年全国都道府県市町村面積調より（国土地理院技術資料）
人口は住民基本台帳人口より（平成30年1月1日現在）
高齢化率は住民基本台帳人口より（平成30年1月1日現在）

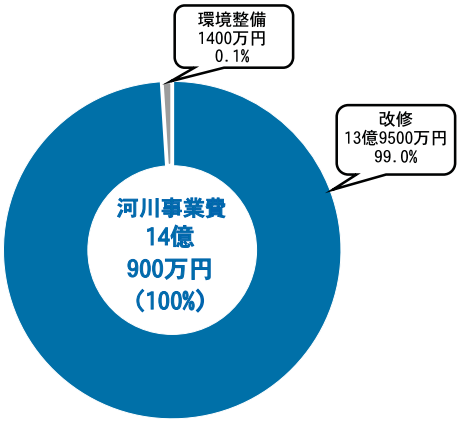
事務所の沿革・予算・組織

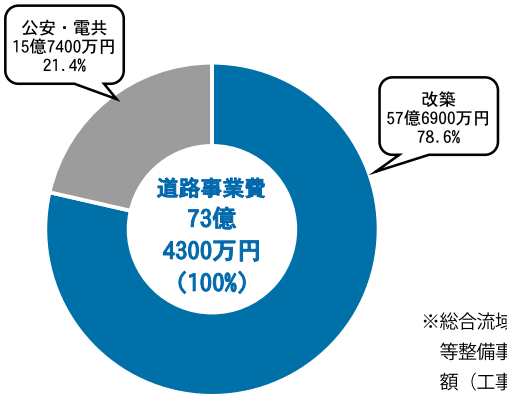
事務所の沿革

能代河川国道事務所は、昭和11年7月秋田県北部の米代川改修のため、建設省の前身である旧内務省仙台土木出張所の「米代川改修事務所」として、能代港町（現能代市）に設置されました。

その後、幾多の統廃合を経て昭和34年4月に東北地方建設局能代工事事務所となり、米代川、一般国道7号の整備・管理を受け持つ総合事務所となりました。平成15年4月に国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所に名称変更になり現在に至っています。

事務所の予算（平成31年度当初）





※総合流域防災事業費、交通安全施設等整備事業費（２種）、工事諸費を除く金額（工事関係費）

事務所の組織

事務所長

副所長（事）
副所長（河）
副所長（道）
契約事務管理官
事業対策官
保全対策官

技術情報管理官
建設専門官
上席専門職
用地官

※平成31年度職員数
一般行政職員 79名
期間業務職員 20名

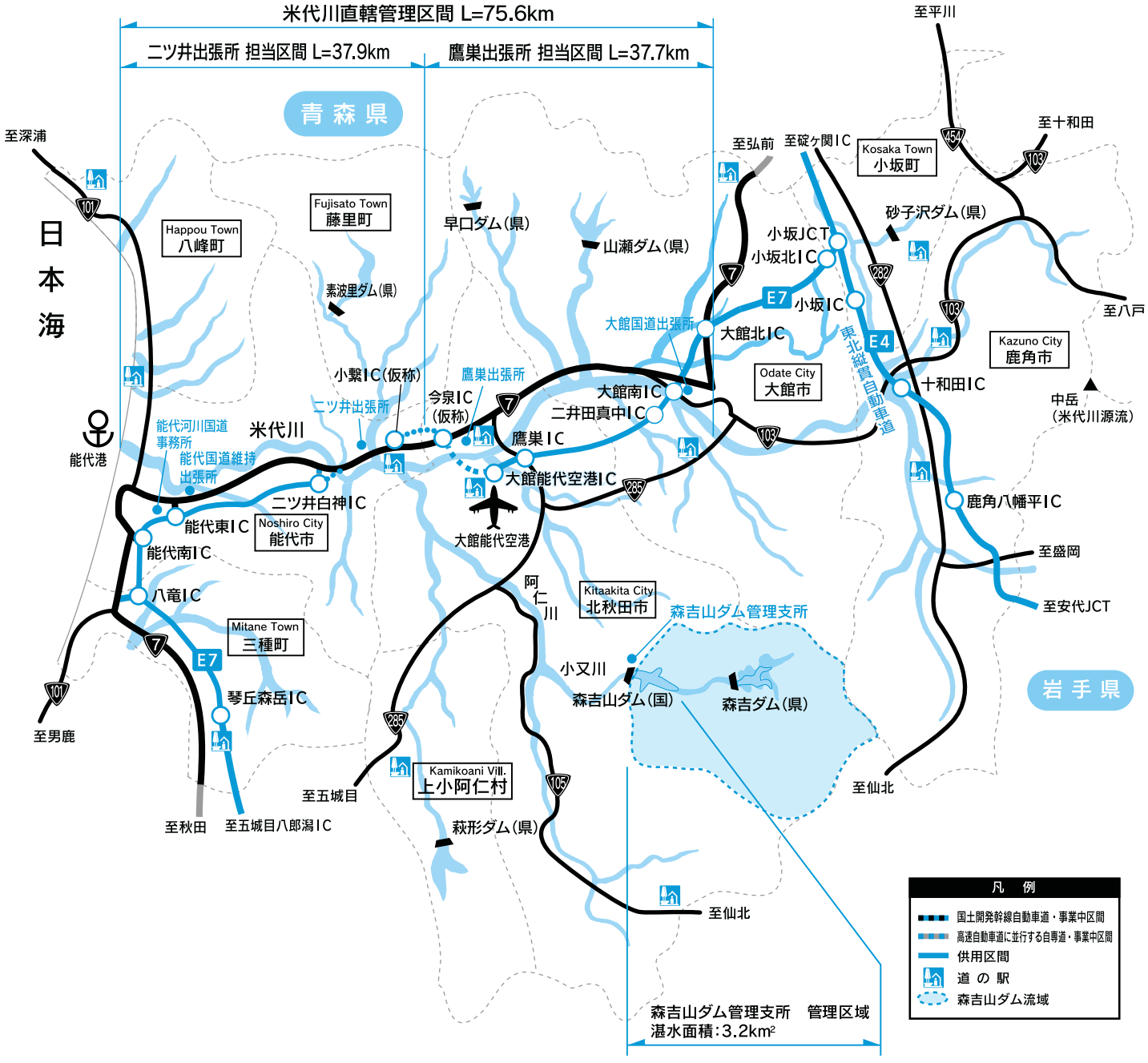
総務課	職員の給与・旅費・福利厚生・事故防止の事務及びその他の事務を担当
経理課	予算管理、物品管理、固有財産の管理、支払、歳入徴収、工事・役務・購入契約を担当
用地課	事業に必要な土地等の用地調査業務、土地の取得、物件移転等の補償業務などを担当
工務第一課	米代川の堤防、水門、樋門等に係わる計画設計及び工事発注を担当
工務第二課	「二ツ井今泉道路」などの設計や工事発注、及び管内の機械・電気設備に関する業務
調査第一課	米代川に関わる調査・計画・洪水予報などを担当
調査第二課	管内の一般国道７号と日沿道に関わる調査・設計などを担当
河川管理課	米代川の管理及び占用の許認可事務、河川・ダム管理施設の維持修繕などを担当
道路管理課	一般国道7号（三種町～大館市）と秋田道（能代南I.C～二ツ井白神I.C、大館能代空港I.C～小坂I.C）の管理、維持修繕・交通安全対策や道路占用、特殊車両許認可事務などを担当
二ツ井出張所	河口から能代市二ツ井町までの米代川本川（36.5km）と支川藤琴川（1.4km）の維持管理・許認可事務を担当
鷹巣出張所	北秋田市今泉から大館市比内町扇田までの米代川本川（35.9km）と支川小猿部川（1.8km）の維持管理・許認可事務を担当
森吉山ダム管理支所	森吉山ダムの施設及び貯水池周辺の維持管理や防災操作、ダム貯水池周辺の許認可事務を担当
大館国道出張所	一般国道7号（北秋田市～大館市）47.0km、秋田道（大館能代空港I.C～小坂北I.C）36.8kmの維持・管理を担当
能代国道維持出張所	一般国道７号（三種町～能代市二ツ井町）51.7km と及び秋田道（能代南 IC～二ツ井白神 IC）17.4km の維持・管理を担当

河川事業の目的

～悠久の流れに人と豊かな自然が織り成す杉かおる米代川～

米代川は、秋田、青森、岩手の3県境付近に位置する中岳（なかだけ）（標高1,024m）にその源を発する、流域面積4,100km²、幹川流路延長136kmの一級河川です。

当事務所の河川改修は、昭和11年に河口～能代市二ツ井町切石地区までの延長L=26kmについて国直轄事業として着手し、河道掘削や築堤等を行ってきました。その後、昭和23年には大館市まで（L=72.4km）改修区間が延長され、築堤を中心とした改修工事を実施してきました。更に、昭和47年7月の戦後最大規模の大洪水を契機として、森吉山ダム、築堤、河道掘削、内水対策等の事業を実施してきました。



米代川河川改修事業

事業概要

平成22年3月に策定された米代川水系河川整備計画に基づき、河道掘削や堤防強化、家屋等浸水対策を行い、災害のない地域づくりを目指します。

進捗状況

平成31年度は、能代市二ツ井地区において「二ツ井きみまち地区かわまちづくり」を推進させるほか、能代市および大館市で河道掘削を行います。

平成25年８月洪水　浸水状況

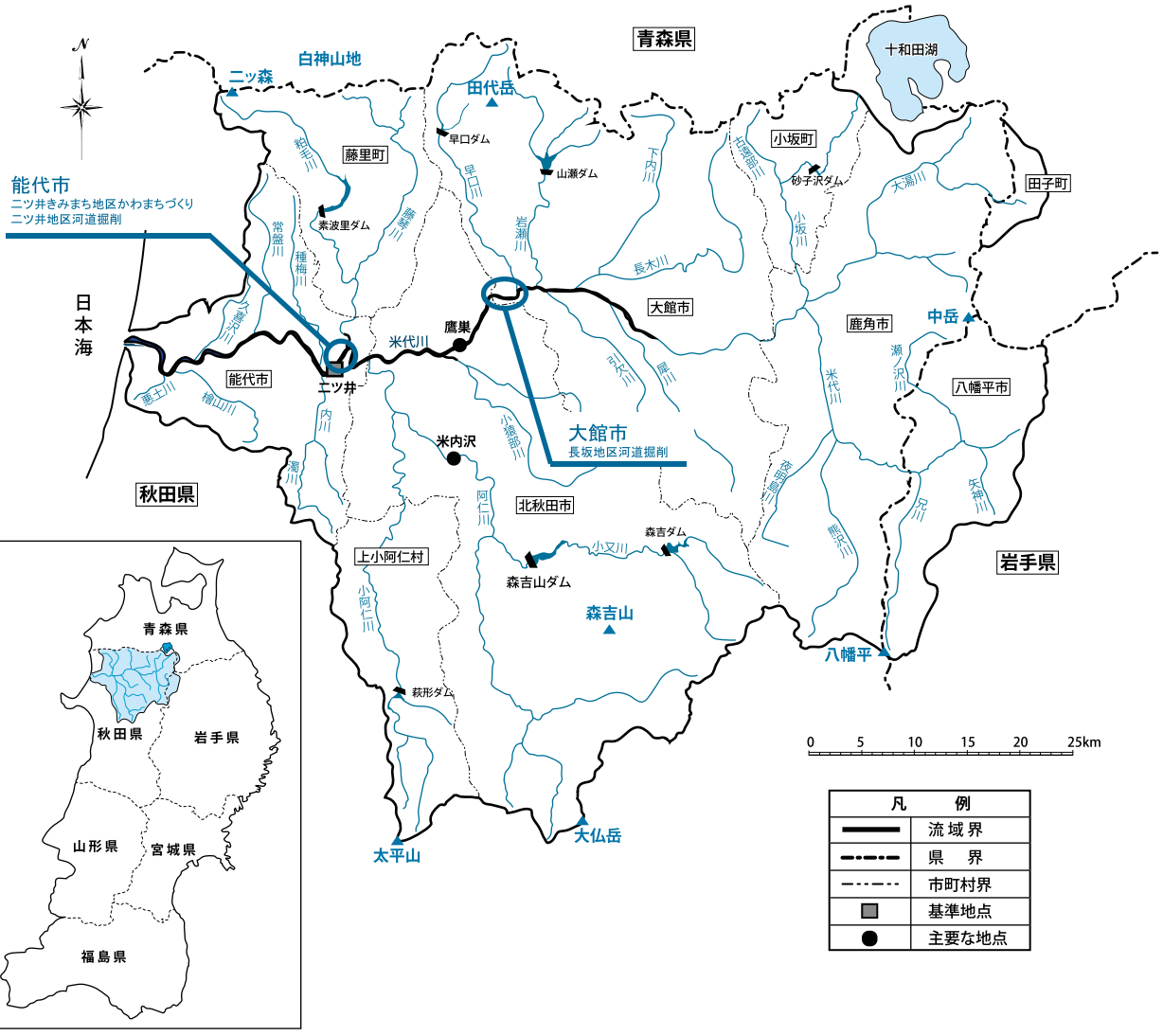


大館市川口地区　　大館市山田渡地区

河川の利用状況（大館市）



川下り（扇田～田代）　　釣り公園のイベント



将来のすがた

○安全・安心の川づくり

米代川では古くから洪水被害に見舞われている一方、渇水も発生しています。記録として正確に残っている大規模な洪水としては昭和47年７月に、全川にわたり氾濫し甚大な被害が発生しました。それに反し翌年の昭和48年７月には記録的な渇水となり各地で被害が生じています。このような水害や渇水の歴史を踏まえ、水害や渇水被害の少ない安全で安心できる川づくりを目指します。

○豊かな自然を次世代に引き継ぐ川づくり

米代川は、動植物の生息・生育の場として重要な河道内の土砂堆積、河畔林及び瀬・淵などが数多く存在しています。このような豊かな自然環境や良好な河川景観に対して適宜モニタリングを行い、これらを次の世代に引き継ぐ川づくりを目指します。

米代川 二ツ井きみまち地区 かわまちづくり

事業概要

能代市二ツ井地区は古くから舟運の要所として栄え、七座山や米代川の優れた自然景観を有しています。「道の駅ふたつい」の移転や「河川防災ステーション」の整備と一体となった水辺空間の整備を進めることにより、観光・防災・地域振興が連携した新たな交流拠点として活用が期待されます。

事業内容

平成31年度は管理用通路を整備します。



整備状況（平成30年6月撮影）



親水護岸（船着場）利用状況

米代川 二ツ井地区河道掘削

事業概要

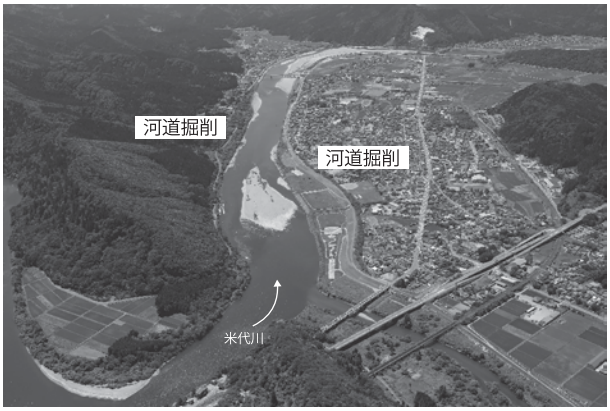
平成30年７月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、流下阻害等によって、洪水氾濫による著しい被害が予測される二ツ井地区において、河道掘削・樹木伐採を実施します。

事業内容

平成31年度は河道掘削･樹木伐採を実施します。



平常時の状況



米代川 長坂地区河道掘削

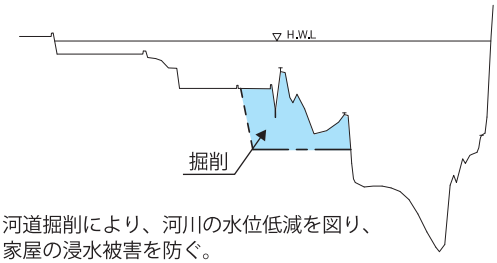
事業概要

平成25年８月洪水により家屋等浸水被害が発生した大館市長坂地区などにおいて、「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みの一環として、緊急的に河道掘削や堤防整備を実施します。

事業内容

平成31年度は河道掘削や用地取得などを行います。

河道掘削標準断面図



河道掘削により、河川の水位低減を図り、家屋の浸水被害を防ぐ。



平成25年８月洪水の状況（川口地区：家屋等の浸水）

河川調査

米代川流域の水文事象を記録するための雨量・河川水位・流量の観測や、米代川の営みを把握するための川幅・水深・河床材料などの河川形態の監視、河川内の生態環境を調査しています。これらの情報をもとに川の将来変化を予測し、河川が 適正に機能するように 検討を行っています。

水文観測調査

米代川水系では雨量 21、水位 14、流量 5 箇所での観測を行い、水文統計資料を整理し、流域の治水計画や水環境計画の基礎資料としています。また、洪水時の河川の状況を把握するため、簡易水位計で34箇所の水位を観測しています。

米代川水辺の国勢調査

河川環境の保全と整備を適切に推進する基礎資料とするため、定期的、継続的、統一的に全国の主な河川で、河川に生息する動植物等の調査を行っています。

平成30年度は両生類、爬虫類、哺乳類調査を実施しています。平成31年度は、河川環境基図の整備及び河川空間利用実態調査を実施する予定です。


（平成30年度 両生類・爬虫類・哺乳類調査）

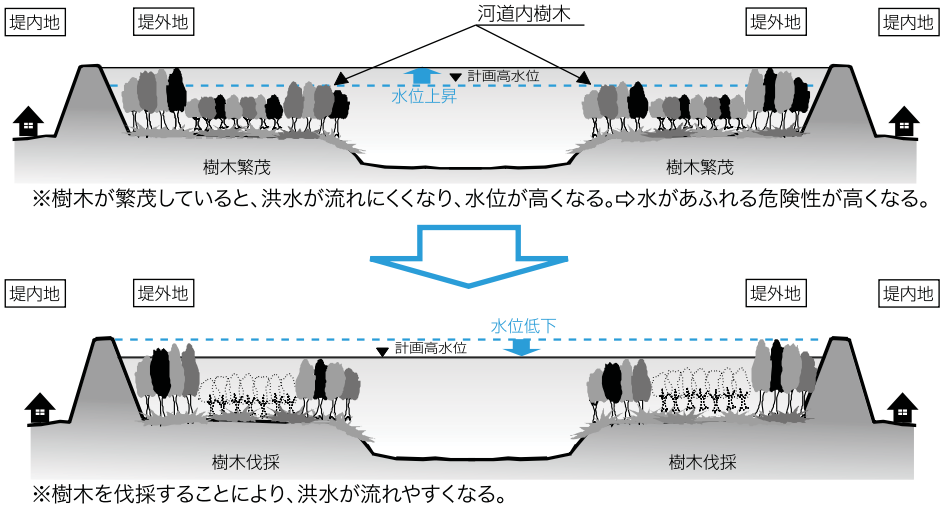

（ニホンアマガエル）


（ヒメネズミ）

河道内樹木管理

河道内の樹木が生長し、元々あった河川空間が狭められると、増水時に水が流れにくくなり、水位が上昇してはん濫する恐れがあります。

このため、洪水を安全に流下できるように、河川環境に配慮した合理的で効率的な河道内樹木管理について検討します。



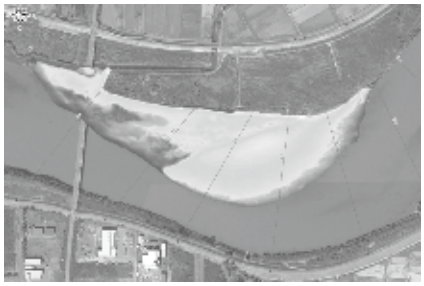
▲樹木管理イメージ

河道モニタリング調査

河道掘削や河道内樹木管理実施後の米代川の横断形状変化や植生繁茂状況の把握等のため、ドローンや三次元レーザスキャナ等を活用してモニタリング調査を行っています。

これらのモニタリング調査結果を基礎資料として、効率的・効果的な河道管理について検討しています。


三次元レーザスキャナによる計測状況


三次元レーザスキャナによる計測結果例


ドローンによる撮影状況


ドローンによる斜め写真撮影結果例

河川管理

能代河川国道事務所の国管理区間は、総延長で75.6km（米代川72.4km、藤琴川1.4km、小猿部川1.8km）であり、二ツ井出張所、鷹巣出張所で管理を担当しています。

河川管理業務は、河川管理施設の適切な管理と河川法に基づく許認可事務や水質の調査で、河川を良好な状態に維持しています。また、日々の河川パトロールや洪水時・地震後の緊急パトロールで点検し、損傷や異常箇所があれば随時修繕作業を実施し、施設管理に努めています。

ダム管理業務は森吉山ダム管理支所が担当しており、ダム堤体及び付属施設、貯水池周辺の地すべりなどについて日々監視しているほか、洪水時・地震時等には緊急点検を実施して損傷や異常個所を確認し、ダムの安全管理に努めています。

河川管理施設維持修繕

雪解けや大雨による洪水に備えて、河川管理施設（堤防・護岸・水門・ダムなど）の維持修繕を行っています。また、堤防機能の維持（点検を含む）のための堤防除草や、堤防上面補修、洪水の流れを阻害する河道内樹木の伐採、ゴミや堆積した土砂の除去、ダム湖内の流木除去などを実施します。



護岸補修（袋詰め根固め）



堤防除草状況（遠隔操作草刈機）



堤防上面補修状況

河川管理施設操作

洪水が発生した時は、ダムにより洪水を調節して、下流の沿川地域の被害を少なくし、また水門・排水ポンプ場などの操作を行い、堤防の内側（住宅や水田がある側）への洪水氾濫を防ぎます。



水門



排水ポンプ場排水状況

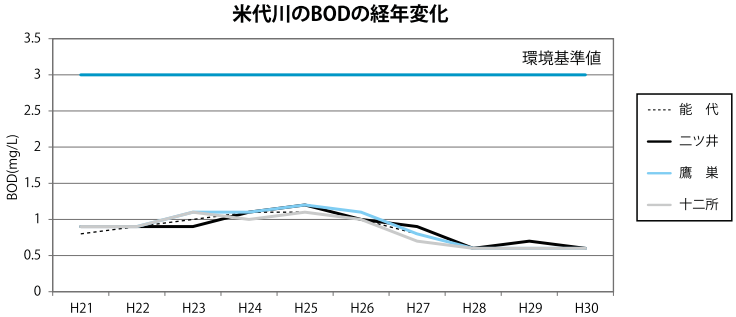
河川の水・土地使用の許認可

河川水の使用（上水道・工業用水・発電用水・かんがい用水）、河川区域内の工作物設置（橋や取水門など）及び、土地使用（河川公園や雪捨て場など）について、許認可事務及び現地立会確認を行っています。なお、これらの許認可事務の受付は、能代市内を担当している二ツ井出張所、北秋田市内及び大館市内を担当している鷹巣出張所、森吉山ダムに関する事務は森吉山ダム管理支所で行っています。

河川水質監視

当事務所では、河川5地点で各種項目の水質調査を行っています。調査の結果、水質評価の代表指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）で、環境基準値（3mg/L）を下回り、良好な水質状態が保たれています。また、森吉山ダム建設からの継続調査として、水質モニタリング調査を行っています。なお、流域の関係機関（国・県・市町村等）で、米代川水系水質汚濁対策連絡協議会を組織し、水質事故が発生した際の情報連絡及び事故対策の調整、水質汚濁防止の啓発活動を行っています。

また、河川愛護思想の普及を兼ねて、米代川周辺の小学生による「水生生物調査」を行い、川底に住む昆虫などの種類から、河川の簡易水質評価を行っています。



グラフ横軸目盛りは年度である。



水質事故対応状況（オイルフェンス）



水生生物調査状況

森吉山ダムの管理

森吉山ダムは、昭和48年の調査事務所開設から39年の期間と移転補償200戸をもって、平成23年度に完成しました。

これまで、森吉山ダム工事事務所により「建設」が進められてきましたが、完成により「管理」に移行となり、平成24年度から『森吉山ダム管理支所』として、能代河川国道事務所に仲間入りしています。

洪水時や渇水時などに機能を最大限発揮させるとともに、長期にわたって適正に運用するため、ダムの色々な施設・設備の日常的な点検整備、計画的な維持修繕を実施しています。また、見学者の案内対応などの広報業務も行っております。



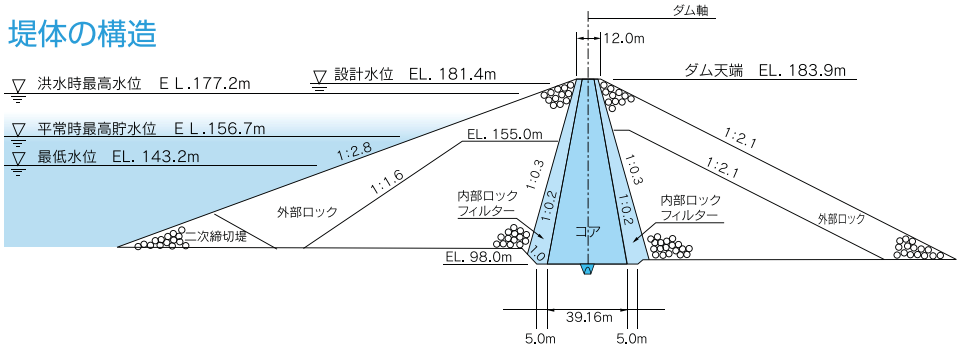
ダム

型　　式	中央コア型ロックフィルダム
堤頂標高	EL183.9m
堤　　高	89.9m
堤　頂　長	786.0m
堤　体　積	585万m³

貯水池

流域面積	248.0km²
湛水面積	3.2km²
洪水時最高水位	EL177.2m
平常時最高貯水位	EL156.7m
最低水位	EL143.2m
総貯水容量	7,810万m³
有効貯水容量	6,810万m³
洪水調節容量	5,050万m³
利水容量	1,760万m³
堆砂容量	1,000万m³

堤体の構造




堤体及び貯水池の湖面からの巡視


貯水池内の流木及び塵芥処理


ダム見学者の案内対応



施設の清掃


電気設備の点検状況

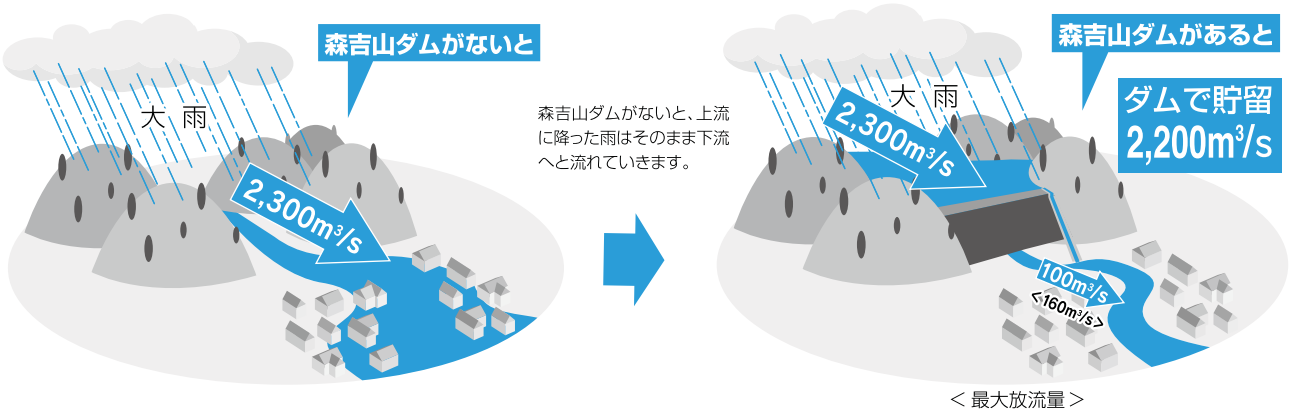

放流警報施設

森吉山ダムのはたらき

1 防災操作（洪水調節）

洪水の一部を貯め込んで下流の地域の被害を少なくします。

計画される最大の洪水流量2,300m³/sのうち、2,200m³/sを貯留して、下流の川沿いの地域の洪水被害を軽減します。



2 流水の正常な機能の維持

渇水を防ぎ、美しい水辺を保全します。

概ね10年に1回起こりうる渇水時においても、能代市二ツ井地点で流水の正常な機能を維持するための流量（概ね42m³/s）を確保します。

3 かんがい用水の供給

北秋田市大野台地区に計画される農地に対してかんがい用水を供給します。

北秋田市の大野台地区に計画されている畑地のかんがい用水として、最大取水量０．１４５㎥/sを供給するための必要量を確保します。

4 水道用水の供給

北秋田市に対し一日最大9,500m³の水の供給を可能にします。

北秋田市には水道用水として地下水をポンプで汲み上げている地域がありますが、水源の枯渇や不足が発生しています。森吉山ダムで貯水した水を水源として水道用水の安定供給が可能となります。

5 発　電

水力発電所で最大１１，２００kWの発電を行います。

ダムにため込まれた水の落差を利用して発電し、エネルギー資源の有効活用を図ります。（水力発電はクリーンで環境にやさしい発電方法です）東北電力株式会社の森吉発電所によって発電される年間の電力量は 約５０,３００ＭＷｈで、これは月平均約１５,０００世帯に供給できる電気に相当します。

道路事業の目的

～強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保～

国土軸の形成と地域間の交流・連携や道路サービスに関する主要課題に対応するため、高速ネットワーク整備を進めていきます。



一般国道７号の概要

一般国道７号は新潟市を起点とし、酒田市、秋田市、能代市、大館市を経由して青森市を終点とする延長約500kmの主要幹線道路です。

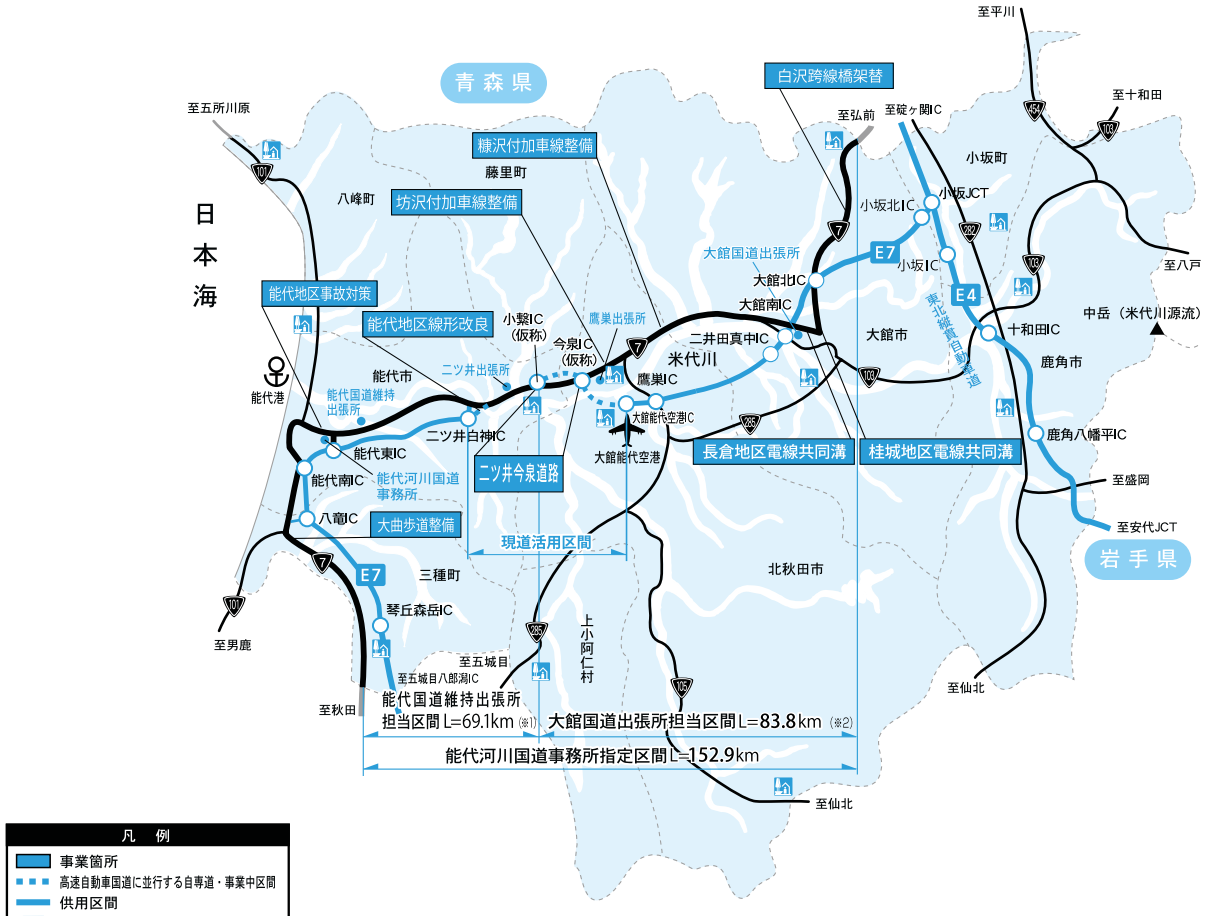
日本海沿岸東北自動車道とは

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）は、新潟市を起点として日本海に沿って新潟県・山形県・秋田県を経て東北縦貫自動車道と連結し、青森県に至る延長約322kmの高規格幹線道路です。

能代河川国道事務所の管理区間延長は一般国道７号が98.7km、秋田自動車道（自動車専用道路）が54.2kmの計152.9kmとなっており、道路パトロールや占用許可等の道路管理業務、路面・橋梁・トンネル等の構造物の維持修繕、除雪・雪庇処理等の雪寒事業を行っています。

一般国道７号においては上記のほか、歩道整備等の交通安全事業及び電線共同溝を実施しています。

また日沿道では、現道活用区間である二ツ井白神ＩＣ～大館能代空港ＩＣにおいて、二ツ井今泉道路の整備を進めるとともに、現道の交通の安全性と円滑性の向上を図るために、能代地区線形改良の事業進捗を図ります。



※1 重複管理区間 L=17.4km秋田道（能代南ＩＣ～二ツ井白神ＩＣ）を含む
※2 重複管理区間 L=36.8km秋田道（大館能代空港ＩＣ～小坂北ＩＣ）を含む

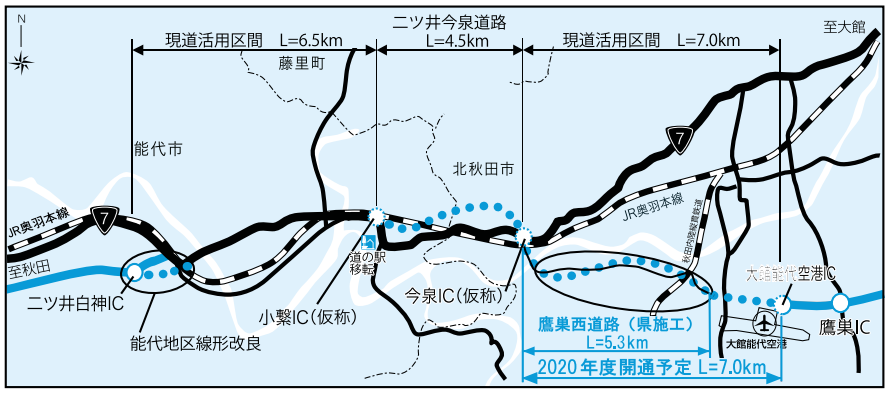
二ツ井今泉道路（小繋IC（仮称）～今泉IC（仮称））

事業概要

二ツ井今泉道路（秋田県能代市二ツ井町小繋～北秋田市今泉：延長4.5km）は、日本海沿岸東北自動車道に並行し、その機能を代替する一般国道７号の自動車専用道路として整備を進めており、平成24年度に事業化されています。

将来的には既に開通している日本海沿岸東北自動車道と併せて、東北縦貫自動車道、大館能代空港、能代港と直結する高規格幹線道路網の一翼を担うことが期待されます。

■事業箇所位置図



進捗状況

平成30年10月、二ツ井今泉道路の小繋地区で、小繋トンネル（仮称：延長1,153m）の工事に本格着手することとなり、工事の安全を祈念して、安全祈願祭を実施しました。



二ツ井今泉道路安全祈願祭



能代市二ツ井町小繋付近

現道活用区間（二ツ井白神IC～大館能代空港IC間）

事業経緯

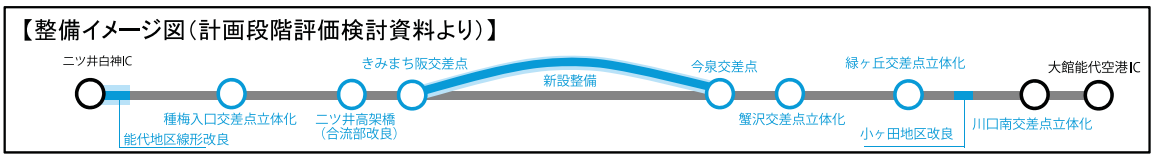
《平成22～23年度　計画段階評価》
- 社整審道路分科会東北小委員会での3回の審議
- 意見聴取（知事、市町村）、ヒアリング（関係機関、企業）、住民アンケート

《平成23年8月　整備方針決定》
- 地域ニーズを踏まえ、沿道住民への利便性が高く、事業費が安価で、早期に利用が可能な現道活用案を選定。

整備方針

小繋IC（仮）～今泉IC（仮）間は別線を新設し、その他の区間は現道の交差点立体化等により現道を有効利用した整備を行う。

【整備イメージ図（計画段階評価検討資料より）】



能代地区線形改良

事業概要

急勾配・急カーブや信号交差点の存在により交通事故の発生や走行速度の低下が大きい二ツ井白神IC部分において、道路の線形改良を行い交通の安全性と円滑性の向上を図るため、平成27年度から事業に着手しています。

進捗状況

平成31年度は改良工事、橋梁下部工工事を実施します。



能代市二ツ井町切石付近

白沢跨線橋架替 7

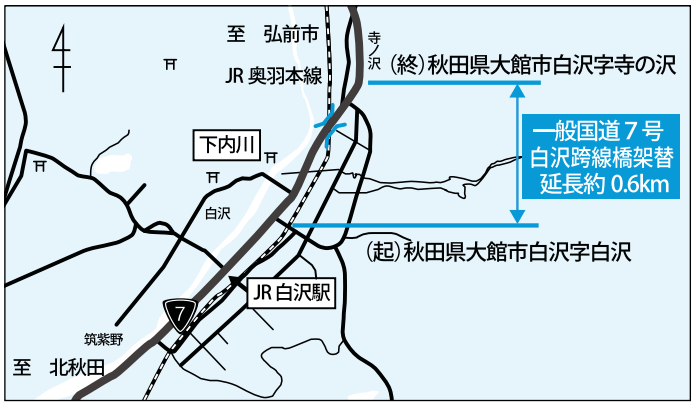
事業概要

大館市白沢地内の白沢跨線橋（橋長４５m）は、竣工後５０年経過した老朽橋であり、本橋梁は、平成２８年４月に発生した熊本地震で落橋した橋脚と同形式（ロッキング橋脚）で支持されていることから、通行の安全性を確保する目的に平成２９年度から橋梁架替事業に着手しています。

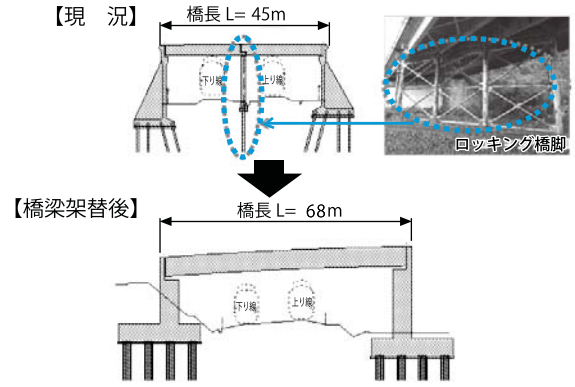
進捗状況

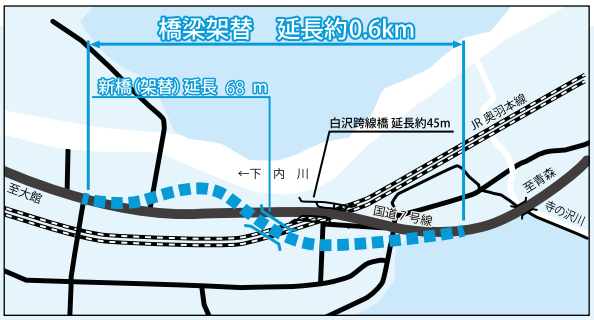
平成31年度は、改良、舗装工事および橋梁工事を実施します。

■事業箇所位置図



■整備イメージ





将来のすがた

災害時の安全性の向上

橋梁架替により、大規模地震に対する安全性向上および主要幹線道路としての機能を確保し、信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

大曲歩道 整備（歩道・路肩拡幅） 7

事業概要

当該区間は、周辺に役場、小・中学校があり、通学路に指定されていますが、歩道幅員が狭くまた、冬期には車道の除雪により歩道の通行が困難になるなどの問題が発生しており、平成22年度より取り組んでいる「事故ゼロプラン」において事故危険区間に指定され、通行時の安全確保のため歩道空間の確保が求められています。

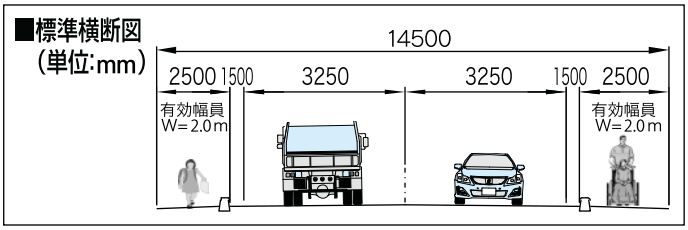


大型トラックが頻繁に通行する道路状況



せまい歩道を歩く小学生

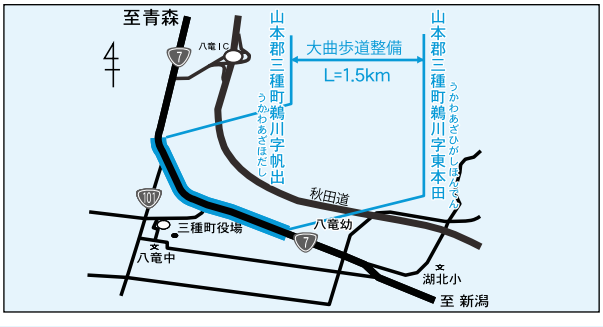
■標準横断図（単位:mm）



進捗状況

平成31年度は、用地取得の推進を図り、一部工事に着手します。

■事業箇所位置図



将来のすがた

歩行者等の安全確保

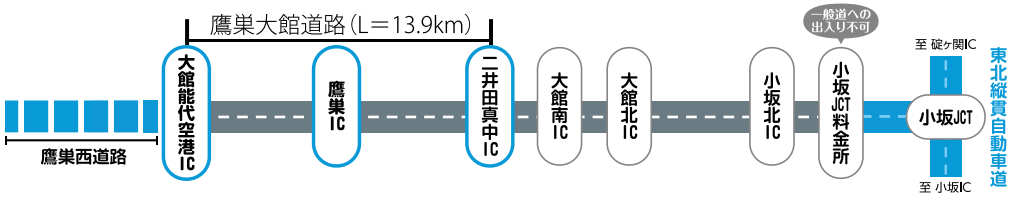
歩道の拡幅、車道の路肩拡幅により、歩行者空間が確保されるとともに、冬期における歩道の通行が改善されます。

鷹巣大館道路の整備効果 7

事業概要

鷹巣大館道路は、日本海沿岸東北自動車道に並行し、その機能を代替する一般国道7号の自動車専用道路として平成17年度に事業着手しました。

平成30年3月21日に大館能代空港IC～鷹巣IC間（L＝1.7km）の開通により鷹巣大館道路（L＝13.9km）が全線開通し、空港に直結しました。



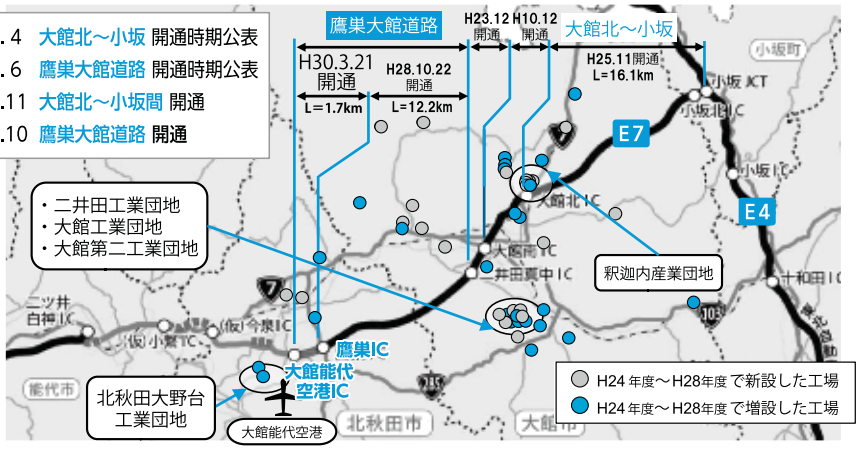
進むネットワーク化が県北の企業進出・新規雇用を後押し

●日沿道の開通時期公表や開通延伸に伴い、北秋田市ではH22年度から9年間で16社が工場を新増設し、新たに133名の雇用が創出。大館市も同様に工場の新増設が急増、総所得額が増加するなどの効果が発現しています。

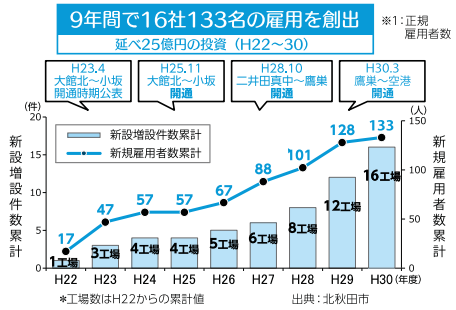
●鷹巣大館道路の開通により、継続的な産業活動の後押しが期待されます。

■ 大館市・北秋田市の近年における主な新設・増設工場

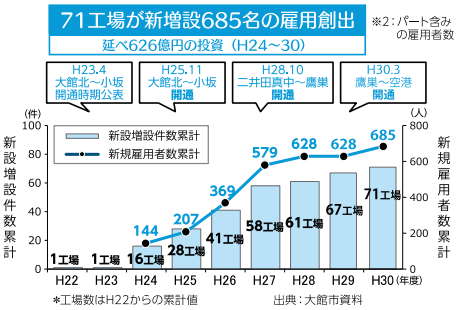
○H23. 4　大館北～小坂 開通時期公表
○H25. 6　鷹巣大館道路 開通時期公表
○H25.11　大館北～小坂間 開通
○H28.10　鷹巣大館道路 開通



■ 北秋田市の新増設件数と新規雇用者数※1の推移



■ 大館市の新設増設件数と新規雇用者数※2の推移



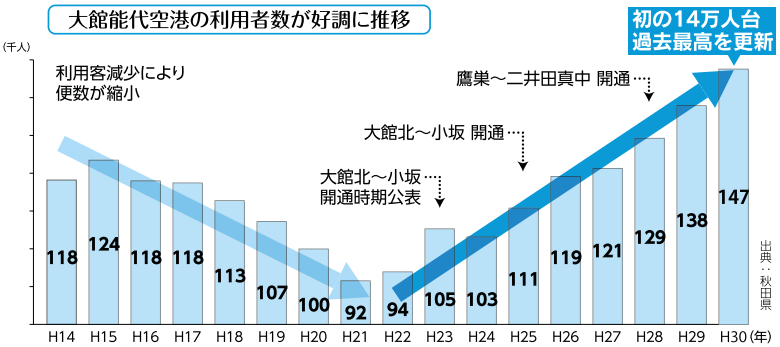
空港との連携による広域周遊観光を支援

●大館能代空港の利用客数は年々増加し、初の14万人台を記録しました。空港を拠点とした観光が活発化しています。

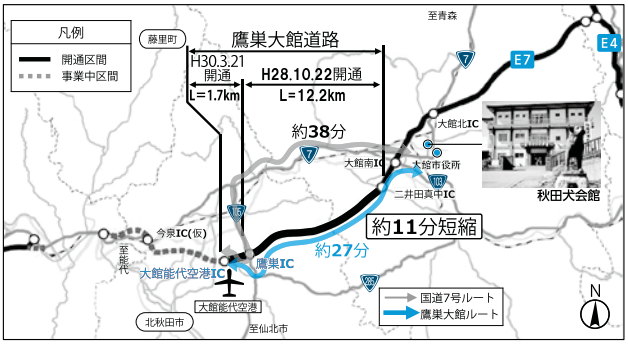
●空港と高速ネットワークのアクセス性向上により、大館能代空港を拠点とした広域観光ツアー企画数が年々増加しています。

●鷹巣西道路及び鷹巣大館道路のアクセス性向上により大館能代空港のさらなる利便性向上が期待されます。

■ 大館能代空港の東京便利用者数の推移

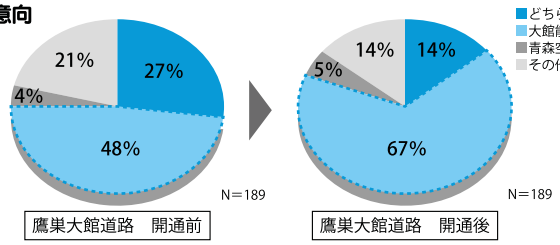


■ 大館能代空港～大館市役所間の所要時間の変化



空港IC開通後、近隣空港（青森）と比較し大館能代空港を選択する方が増加

■ 空港選択意向

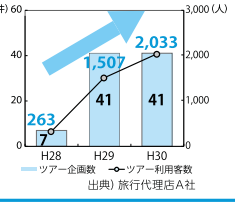


※大館能代空港・道の駅大館能代空港利用者へのアンケート（H30.8）

大館能代空港を起点とした観光周遊ツアーが増加

■ 旅行代理店A社のツアー企画数※1・参加者数

空港拠点ツアーが年々増加



●空港アクセスがよくなったことで目的地の観光時間を長くできるなど、より観光ツアーが組みやすくなっており、ツアー内容の選択肢も広がりました。
（関西方面の旅行会社／H30.5ヒアリング）

●観光目的でのお車の利用が増えており、大館方面に向かうお客様には鷹巣大館道路の走行をご案内しています。
（大館能代空港のレンタカー会社／H30.5ヒアリング）

※1：ツアー企画の中心となる観光地例
春）弘前桜まつり
秋）奥入瀬渓流
冬）阿仁の樹氷鑑賞

道路調査

秋田県北部地域では、平成５年８月に地方拠点都市法の地域指定（米代川流域市町村）を受けており、各生活圏の結びつきをさらに強いものとし、地域の活性化を図ろうとしています。これらを支援する社会基盤として、大館能代空港（平成10年7月開港）や能代港（リサイクルポート指定平成18年12月）と連携した広域道路網の整備は不可欠となっています。これらの状況を踏まえ、地域の交通の現状や問題点、開発計画、また将来にわたる交通需要や道路整備需要を的確に把握する必要があり、各種道路調査を実施します。

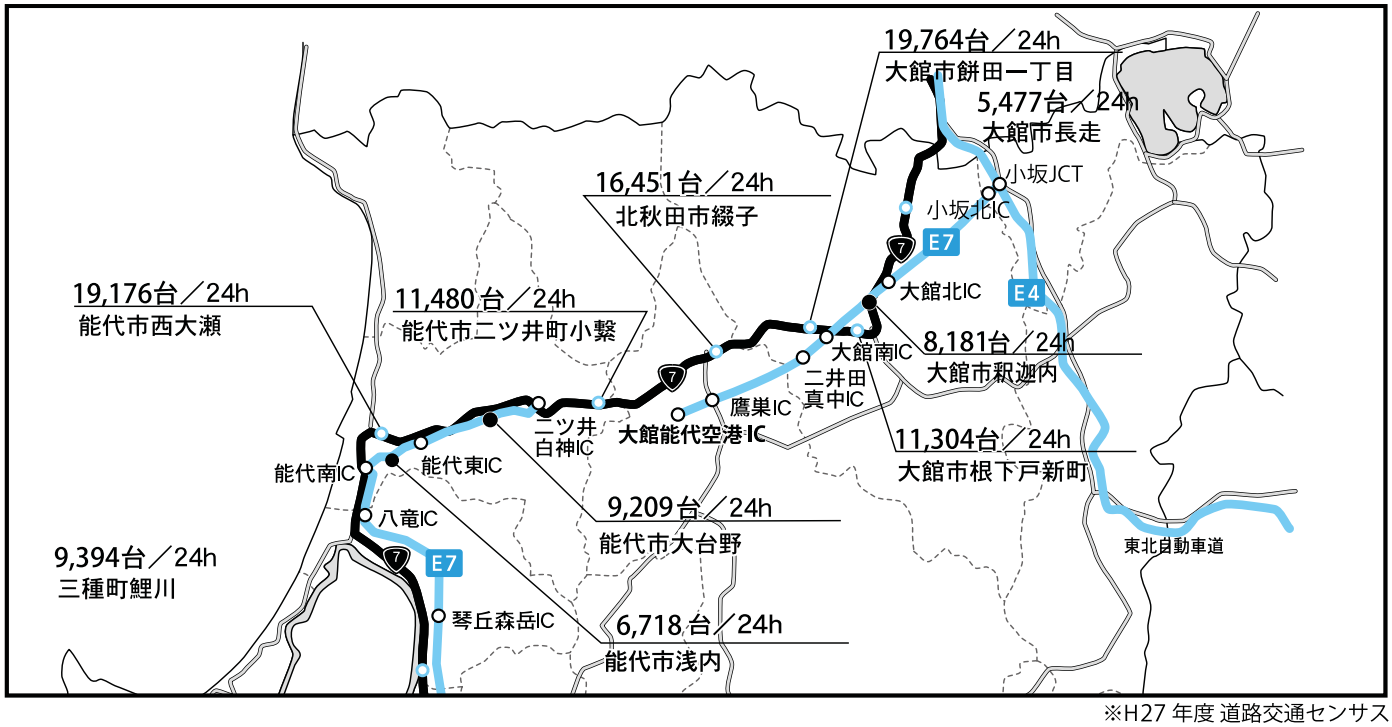
交通量調査

管内の一般国道や主要地方路線において、今後の道路計画、建設、維持修繕、道路管理などの基礎資料を得る事を目的として、交通量の調査を行っています。



交通量調査状況

管内の日交通量（平日）



※H27 年度 道路交通センサス

渋滞状況調査

今後の道路計画及び道路管理における対策立案の基礎的資料を得るため、管内の主要交差点において、渋滞状況調査（渋滞長・通過時間）を実施しております。



管内の渋滞状況

道路環境調査

各種道路計画及び実施にあたり、希少動植物の生態等について調査を行っています。それらの調査・結果をもとに、専門家から助言をいただきながら生態系などに与える影響を最小限に抑え、 環境に配慮した事業計画を実施していきます。



サシバ

道路管理

道路管理は、事務所道路管理課と大館国道出張所及び能代国道維持出張所の２つの出張所が担当しています。担当区間は、一般国道７号（秋田県山本郡三種町天瀬川～大館市長走）Ｌ＝152.9 km（秋田道 能代南 IC～二ツ井白神 IC 間、大館能代空港 IC～小坂北IC間含む）となっております。業務内容は、道路を常に安全でかつ快適に利用していただくために次のような業務を実施しています。

道路管理業務

常に良好で安心して通行できる道路を維持するため、道路パトロールによる路面や道路付属物の状況の点検、道路法令に基づく占用許可（上下水道・電柱・看板等）、道路の請願工事の承認（通路の取り付け等）、特殊車両の通行許可、道路付属物の損傷復旧業務、道路に関する相談、意見、苦情、質問等の窓口業務などを行っています。



路面や道路付属物の状況をパトロールで点検します

損傷箇所が発見された場合



損傷箇所を確認し、対処方法を検討の上、迅速に補修対応します

道路維持・修繕事業

道路を保全し、道路交通の安全と円滑化を図るため、橋梁やトンネルなど構造物の点検・補強補修、車道や歩道路面の舗装補修、照明灯や標識、ガードレールなど道路付属物の補修、道路清掃などを行っています。



トンネルの点検



橋梁の補修

除雪・防雪事業

冬期間でも安心して通行できる道路を維持するため、管内４箇所（能代市２、大館市２）の除雪ステーションを基地に車道及び歩道の除排雪や、凍結抑制剤の散布を行っています。また、地吹雪による運転中の視界不良を防ぐため、防雪柵の設置も行っております。



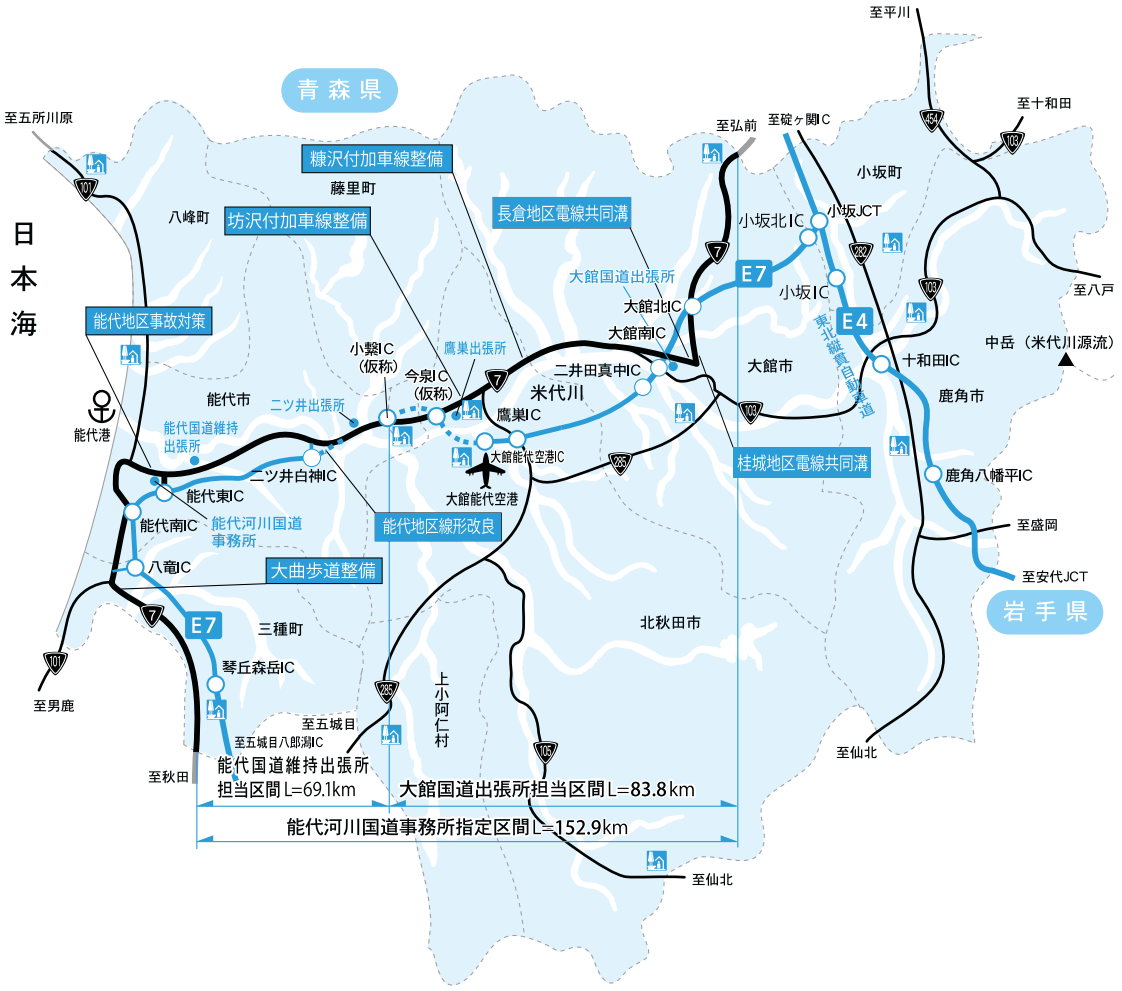


一般国道７号での対策状況（防雪柵、除雪）

道路管理

交通安全事業・電線共同溝事業

交通事故多発区間等における交通の安全を確保するため、通学路区間等の歩道設置、道路標識、区画線、防護柵等の設置を行っています。



事 業 名	事業概要
大曲歩道整備 （山本郡三種町鵜川）	歩道・路肩拡幅（L=1.5km）
能代地区事故対策 （能代市下野）	交差点改良等（L=1.8km）
能代地区線形改良 （能代市二ツ井町切石）	線形改良（L=2.0km）
坊沢付加車線整備 （北秋田市坊沢）	付加車線整備（L=1.9km）
糠沢付加車線整備 （北秋田市糠沢）	付加車線整備（L=0.9km）
長倉地区電線共同溝 （大館市豊町～桂城）	電線共同溝整備（L=0.8km）
桂城地区電線共同溝 （大館市桂城～長木川南）	電線共同溝整備（L=0.6km）

道路管理

交通安全対策

事故ゼロプラン　事故危険区間重点解消作戦
（秋田県の交通事故対策の取り組み）

秋田県内の国道の事故対策は、事故の危険性が高い区間などを県民の皆様と一緒に明確化し、事故原因に即した効果の高い対策を実施するとともに、実施にあたってはマネジメントサイクルに基づき、情報を公表し意見を伺いながら、継続的に対策を行っていきます。

■事故危険区間の選定プロセス
秋田県内の国道（7号・13号・46号）

Step1：交通事故発生状況・特性の分析

○事故データや地域の声等を把握し、交通事故の発生状況や事故の特性を分析し、事故の要因を検討

Step2：事故危険区間候補の抽出

○死傷事故の発生割合が高い区間
○重大事故が発生している区間
○歩行空間の安全性に不安がある箇所

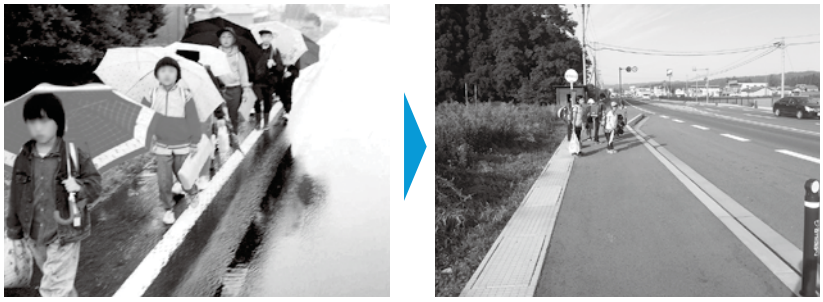
Step3：事故危険区間候補の絞り込み

○事故危険区間候補の中から、特に交通安全対策の必要性が高い区間を以下の視点から抽出
①死傷事故の発生割合が高い区間
②重大事故（死亡事故）が発生している 区間
③歩行空間の改善を図る必要のある区間
④未然に事故防止を図る必要のある区間

Step4：事故危険区間を決定

歩道整備

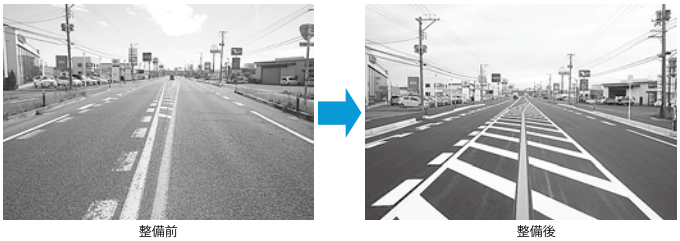
安全な通学路の確保、冬期歩行空間の確保を図ります。



整備前　整備後

事故対策（対策事例）

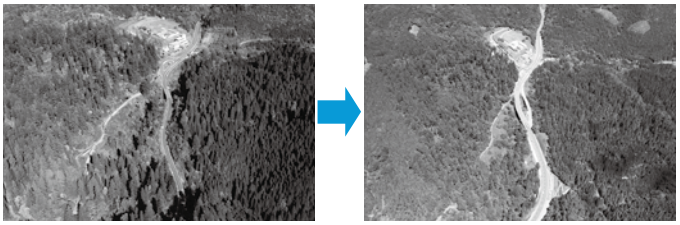
多発する追突事故を防止し、道路利用者の安全安心を確保します。



整備前　整備後

視距改良

峠部での急カーブ解消・視距確保を行い、交通事故防止及び交通の円滑化を図ります。



整備前　整備後

電線共同溝（長倉地区・桂城地区）

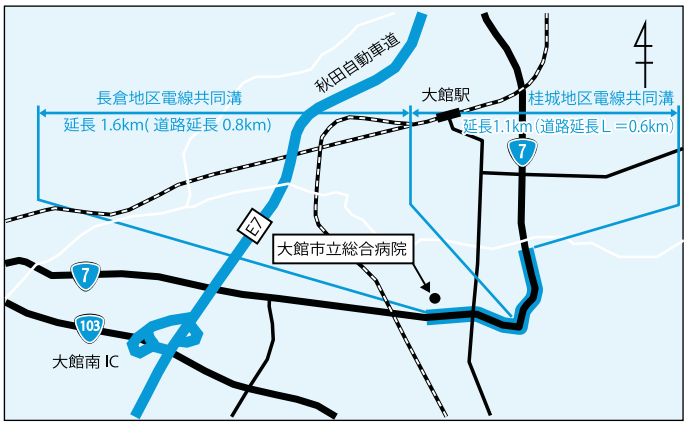
事業概要

長倉地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をする事で、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

進捗状況

長倉地区：平成31年度は、電線共同溝工事を推進します。
桂城地区：平成31年度は、調査設計に着手します。

■事業箇所位置図





大館市長倉地区

情報提供についての取り組み

国道7号や米代川のライブカメラ映像や大雨・地震時の気象情報、冬みちの情報収集など防災に役立つ様々な情報をホームページやパンフレットなどで発信しています。



秋田の快適走行サポートサイト
「みちナビ秋田」

秋田県内の道路情報が満載!

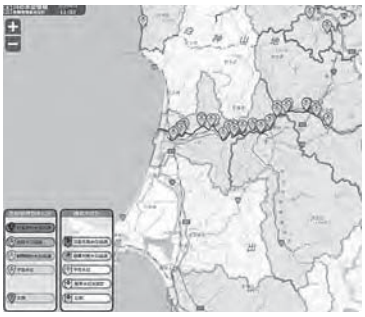
http://road.pref.akita.lg.jp/modules/tinyd0/



「XRAIN」によるレーダー雨量情報
「川の防災情報」

高性能･高分解で､ほぼリアルタイムな雨量を提供!

http://www.river.go.jp/x/xmn0107010.php



最寄りの河川の状況を直接把握
「危機管理型水位計」

きめ細やかな水位の把握が可能!

http://www.river.or.jp/riverwaterlevels/

地域とのコミュニケーション

能代河川国道事務所では､住民一人一人が本当の豊かさを実感できる社会を実現するため､生活を支える社会基盤として河川や道路を整備し､管理しています。平成24年度からは､森吉山ダムも管理しています。

そのため地域の皆さんや自治体関係者の方々との対話を行ったり､地域イベントへの参加など様々な取り組みを通して､幅広くニーズをくみ取り､地域とともに事業を進めてまいります。

現場施設見学会を通じた事業進捗の紹介

能代河川国道事務所で実施している事業について､現場見学会を通じて地域の皆さんへ紹介しています。見学会では事業の進捗だけではなく､事業の役割や背景､各種取り組みや整備効果などの説明を行い､事業への理解を深めていただいています。



現場見学会の様子（北秋田市立鷹巣中学校）

総合的な学習の支援･協力や出前講座

能代河川国道事務所の事業や施策について､地域の皆さんにもっと知っていただくとともに､皆さんの意見や生の声を聞かせていただくための場として､「出前講座」を設けています。

職員が最新情報を交えつつ､わかりやすくお話しさせていただきます。また､意見を通じて､様々なニーズや声を聞かせていただき､それをできる限り今後の国土交通行政に反映させていきたいと考えています。



総合学習の様子（北秋田市立鷹巣東小学校）



インターンシップ（秋田県立能代工業高等学校）

地域づくり相談窓口の設置･地域づくり担当官の配置

国土交通省所管の各種施策や事業に関する情報提供､県や市町村､地域づくりグループからの多様な地域づくりに関する相談に対して､スピーディに､かつ､的確に対応するため､事務所には「地域づくり相談室」を､また､各出張所には「地域づくり相談所」を設置しています。

また､地域の声を施策に反映させたり､所管の事業に関する情報を紹介するなど､地域づくり支援を担当する「地域づくり担当官」を配置しています。

地域づくり相談窓口
（調査第一課長）
TEL 0185-70-1176

■地域づくり担当官の役割

地域づくり担当官の役割（平成10年度～）

人間関係の構築･ニーズの把握
地域住民･学識経験者等との意見交換
（地域の声を施策に反映）

地域づくり支援
国土交通省の施策の紹介､地域づくりに関するアドバイス､地域間の交流連携の支援

人材育成･情報の受発信
職員に対する地域づくりへの意識向上､
地域づくりに関する情報の共有化､受発信

二ツ井出張所

●米代川･藤琴川の維持管理（除草作業等）を行います。
●米代川の洪水流下能力を向上させるため、河道掘削、樹木伐採を行います。
●河川パトロールを行い、堤防等の施設点検、ゴミ等の不法投棄の監視などを行います。
●河川敷使用などの許認可事務を行います。
●河川愛護に関するイベントや小中学校の総合学習への支援を行います。

担当区間

区　　間	延　長
河口から能代市二ツ井町までの米代川本川36.5km	37.9km
支川藤琴川1.4km	


合同船上巡視


重要水防箇所合同巡視


安全利用点検



二ツ井出張所
〒018-3103
能代市二ツ井町荷上場字中島26
TEL 0185-73-5432・FAX 0185-73-5090

鷹巣出張所

●米代川･小猿部川の維持管理（除草作業等）を行います。
●洪水で削れた河岸の復旧、河道掘削、樹木伐採などを行います。
●河川パトロールを行い、堤防等の施設点検、ゴミ等の不法投棄の監視を行います。
●河川敷使用などの許認可事務を行います。
●河川愛護に関するイベントや小中学校の総合学習の支援を行います。

担当区間

区　　間	延　長
北秋田市今泉から大館市比内町扇田までの米代川本川35.9km	37.7km
支川小猿部川1.8km	


管理施設合同点検


樹木伐採


小学生の川下り



鷹巣出張所
〒018-3301
北秋田市綴子字柳中9－1
TEL 0186-62-1226・FAX 0186-63-0991

森吉山ダム管理支所

●森吉山ダムの施設及び貯水池周辺の維持管理や防災操作、ダム堤体や貯水池周辺の地すべり等の監視を行っています。
●ダム貯水池周辺の河川区域使用などの許認可事務を行っています。
●ダムの役割など事業への理解を深めていただくため、ダム施設見学を行っています。
●「森と湖に親しむ旬間」に関するイベントや総合学習への支援を行っています。


洪水吐から流れる水の状況


四季美湖まつり　カヌー体験



森吉山ダム管理支所
〒018-4512
北秋田市根森田字姫ヶ岱31
TEL 0186-60-7231・FAX 0186-60-7232

能代国道維持出張所

●国道７号(三種町～能代市間)と秋田道(能代南ＩＣ～二ツ井白神ＩＣ間)の舗装や構造物の補修を行います。
●国道沿線の花壇づくり(国道7号ふれあいロード)や黒松剪定(能代バイパス黒松友の会)等のボランティア活動を支援します。
●道路パトロールによる路面･道路付属物等の点検･補修を行います。
●道路使用などの許認可事務を行います。
●国道７号及び秋田道で交通事故や故障車両が発生した際に出動し対応します。



能代国道維持出張所
〒016-0121
能代市鰄渕字家の下19
TEL 0185-58-2919・FAX 0185-58-3149

担当区間

道路名	区　　間	延　長
7号	秋田県山本郡三種町天瀬川字三倉鼻から 秋田県能代市二ツ井町小繋まで	51.7km
7号 (秋田道)	能代南IC～二ツ井白神IC	17.4km



道路パトロールによる点検



トンネル照明灯の点検･交換



ボランティア団体の支援
(写真:能代バイパス黒松友の会)

大館国道出張所

●国道７号:北秋田市～大館市間の舗装や橋梁の補強補修を行います。
●秋　田　道:北秋田市～小坂町間の舗装や橋梁の補強補修を行います。
●道路パトロールによる路面･道路付属物等の点検･補修を行います。
●道路使用などの許認可事務を行います。
●白沢跨線橋架替事業を推進します。
●長倉地区電線共同溝整備を推進します。
●国道7号及び秋田道で交通事故や故障車両が発生した際に緊急出動し対応します。



大館国道出張所
〒017-0864
大館市根下戸新町1－68
TEL 0186-49-0321・FAX 0186-43-5819

担当区間

道路名	区　　間	延　長
7号	秋田県北秋田市今泉字鳥越から 秋田県大館市長走字下内沢まで	47.0km
7号 (秋田道)	大館能代空港IC～小坂北IC	36.8km



損傷箇所の補修(路面補修)



除雪作業



緊急出動対応

防災対策への取り組み

地震･風水害等の災害が発生した場合、被害を最小限にとどめ、一刻も早い復旧作業を行う必要があります。
このため、日頃のパトロールはもとより、万一災害が発生した場合は施設等の被害状況を早急に把握し、より迅速かつ円滑な復旧作業が出来るように取り組んでいます。

洪水予報･水防警報

米代川沿いの洪水被害を最小限度にとどめるため、当事務所では水防法に基づき次の予警報を発表します。
①米代川沿いで氾濫の恐れがあると認められた場合に気象台と共同して、「氾濫注意情報」「氾濫警戒情報」「氾濫危険情報」「氾濫発生情報」などの米代川洪水予報を発表します。
②洪水または高潮によって災害が発生する恐れがあるとき、水防団等の出動を促す「水防警報」を発令します。

防災エキスパートとの連携

災害の発生時、被災情報の迅速な収集を行うとともに、災害発生を未然に防ぐため、防災箇所の安全性の判定や点検などの防災活動について防災についての経験と知識を持った方々に、ボランティアとして協力をいただいております。


防災エキスパートによる現地点検


点検結果を基に安全性の判定を実施

災害対策室

災害が発生した場合や発生の恐れがある場合、被災状況や気象データ･現地映像を迅速に収集し、対策や復旧等の検討、指示を県北地域の防災拠点として「いざ」というとき人々の暮らしと安全を守ります。



災害情報普及支援室

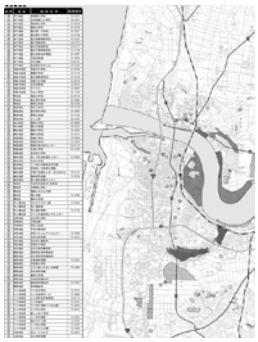
洪水ハザードマップ作成にあたって、市町村が必要とする技術支援を目的として、平成17年1月27日に設置しました。はん濫シミュレーション結果の提供や、災害への備えに関する情報の提供などを行っています。

災害情報普及支援室の役割･機能は次のとおりです。

･洪水ハザードマップの作成に関する市町村への技術支援
･事務所管理区間におけるはん濫シミュレーション結果の情報提供
･浸水想定区域内の事業所等への自衛水防の支援
･その他、災害ポテンシャル情報に関する普及･啓蒙活動等



能代市のハザードマップ



米代川洪水対応演習

防災担当者として、災害対応能力の向上を目的とし、情報収集、集約、伝達判断及び対処等の具体的な災害対策活動を実践的に行う模擬演習を行っています。
近年では、平成２５年度の大規模洪水の経験を踏まえ、米代川流域の関係機関の協力を得ながら、出水期前に洪水対応演習を毎年行っています。




米代川洪水対応演習

東日本大震災をふまえて　～がんばろう!東北～

リエゾン：災害対策現地情報連絡員　※リエゾン（Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語）

　重大な災害が発生し又は発生の恐れがある場合に、災害支援活動の連絡窓口として、地方公共団体等の災害対策本部に派遣する現地情報連絡員です。
　東北地方整備局は、リエゾンより得られる情報をもとに、支援の必要性を判断し、災害対策車やTEC-FORCEなど、状況に応じて派遣します。
　平成23年3月11日の「東日本大震災」においても、当事務所からは宮古市、大槌町、野田村など、通信手段の途絶えた被災地に職員を派遣し、被災状況や必要な支援内容などの情報収集のほか、首長と整備局長との〝つなぎ役〟として活動を行っております。２名１組を基本に交代で派遣し、のべ194名が被災地の支援に赴いています。


宮古市の被災状況（市役所前）


宮古市災害対策本部


野田村の被災状況（防潮堤）


野田村長へ整備局長からの伝達

TEC-FORCE（テックフォース）：緊急災害対策派遣隊

　大規模な自然災害が発生した際、被災自治体が行う災害対策に対し、技術的な支援をする派遣部隊で、先遣班・被災状況調査班などの８班で構成されています。
　平成23年３月11日の「東日本大震災」においても、当事務所から３名の隊員を派遣し、被災状況の調査にあたり、被災地復興への支援を行いました。
　また平成30年７月19日に岡山県で発生した「平成30年７月豪雨」においても、当事務所から４名の隊員を派遣し河川における被災状況を調査し、被災地復興への支援を行っています。

【平成２３年東日本大震災】


えぐられた舗装版の下


流された橋

【平成３０年７月豪雨】

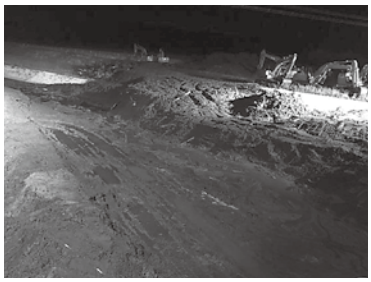

出発式の様子


被災状況の調査

災害対策車

　能代河川国道事務所では、豪雨による氾濫や道路冠水などの最前線へ駆けつけて排水作業を行う、排水ポンプ車を１台配備しています。排水能力としては、25mプールを約10分で排水できます。また、夜間作業には欠かせない、照明車も１台保有しています。
　平成30年９月６日の「北海道胆振東部地震」の際においても甚大な被害を受けた北海道に災害現場の支援のため、災害対策用機械（照明車）を派遣しました。


災害対策車（照明車）


照明車（作業状況）

ビッグデータを活用した生活道路の交通安全対策 ～生活道路対策エリア～

ETC2.0により収集される速度や経路、急ブレーキなどの「ビッグデータ」を活用することにより、潜在的な危険箇所を特定し、効果的な交通安全対策を進めることができます。

潜在的な危険箇所を特定
<<見える化>>

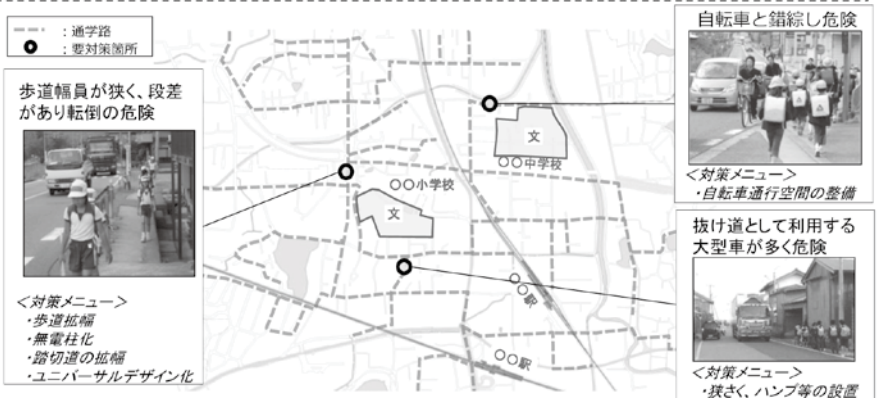
○ビッグデータの分析内容
- 平均速度
- 30km/h超過割合
- 急ブレーキ発生箇所
- 走行経路（抜け道ルート）

潜在的な危険箇所を含めた効果的な対策を実現

○対策内容
- 走行速度の抑制
- 通過交通の進入抑制

○歩行空間の確保等の通学路における交通安全対策

⇒点検等を継続的に実施している団体が行う対策に対して特に重点的に配分
⇒ビッグデータを活用した生活道路対策に対して特に重点的に配分

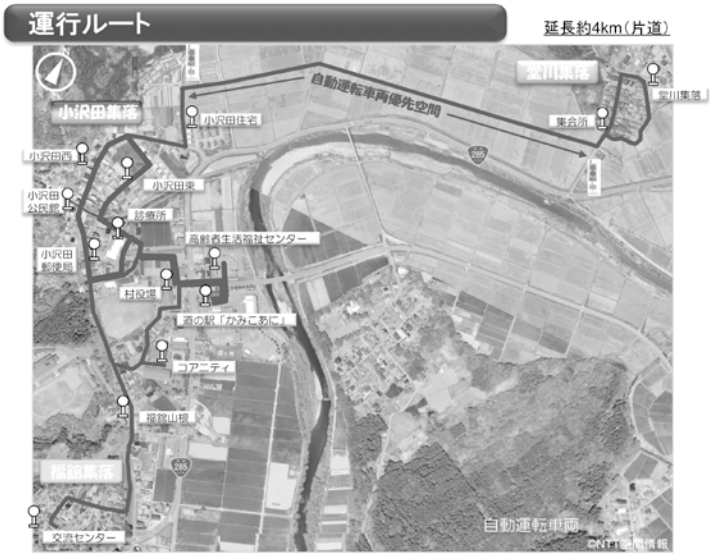


※ビッグデータ:処理することが困難なほど巨大で、複雑なデータ集合の集積物を表す総称
※ＥＴＣ2.0:国道交通省が収集する、ETC2.0対応車載器を搭載した車両から得られるデータ

上小阿仁村自動運転サービス実証実験

国土交通省では、内閣府SIPの枠組みの中で高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流の確保のため「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの社会実装を目指し、平成29年度より実証実験を行っております。

平成30年度は自動運転に対応した道路空間の検証、オンデマンド運行、多様な連携として商品の輸送などビジネスモデル構築に向け長期（42日間）に渡る実証実験を実施しました。





日本風景街道　「のしろ白神の道」

「のしろ白神の道」は秋田県北地域の国道７号や101号を中心とした総延長約100kmのルートです。

このエリアでは、日本三大美林の秋田杉や黒松、白神山地のブナ林など四季折々に表情を変える広葉樹を多く目にすることができます。

また、そうした自然景観ばかりではなく、市民に「木のまち」を身近に感じてもらえるような場を設けながら、新たな技術や研究成果を活用した「木の香る道」づくりも目指しています。


黒松の剪定


H30年度　のしろまちづくりフォーラム

能代河川国道事務所ホームページ

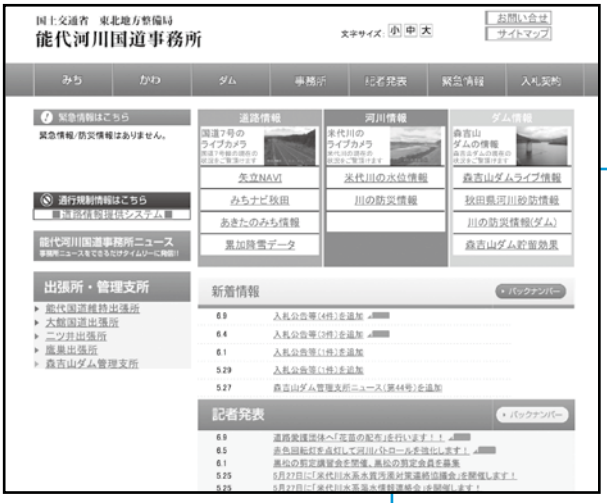
能代河川国道事務所ホームページでは秋田県北地域の河川や道路の情報を配信しています。米代川や国道7号のライブ画像の配信は随時更新しています。秋田県北地域の新しい情報を地域の方々へ早く、わかりやすく提供しています。

ホームページアドレス

http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

能代河川国道事務所　検索

能代河川国道事務所ホームページお役立ちコンテンツ



▼国道7号のライブカメラ





当事務所が管理する国道7号・秋田道の道路状況(15地点)をリアルタイムで公開中です。レジャー等でお出かけの前にご活用下さい。

▼米代川のライブカメラ



当事務所が管理する米代川の様子(12地点)をリアルタイムで公開中です。大雨時の河川状況の確認など、様々な用途でご活用下さい。

▼能代河川国道事務所ニュース



事務所の事業や話題、各種取り組みなど様々な情報を随時提供します。

▼河川女子(チーム米代)

事務所に在席する女性職員たちが、米代川や森吉山ダムの魅力を「女性の視点」で紹介しています。



▼出張所管理支所ニュース

4出張所及び管理支所の米代川や森吉山ダム、国道7号の管理を通じた話題や取り組みなどをわかりやすく紹介しています。



▲ 鷹巣出張所ニュース　Riverたかのす

地域の情報発信

森吉山ダム広報館 紹介

森吉山ダム広報館は、ダムに関する情報や地域の自然・歴史・文化・風土、周辺地域の観光情報などを提供しています。展望テラスからは、ダム湖と周辺の雄大な自然が一望できます。お気軽にお立ち寄りください。

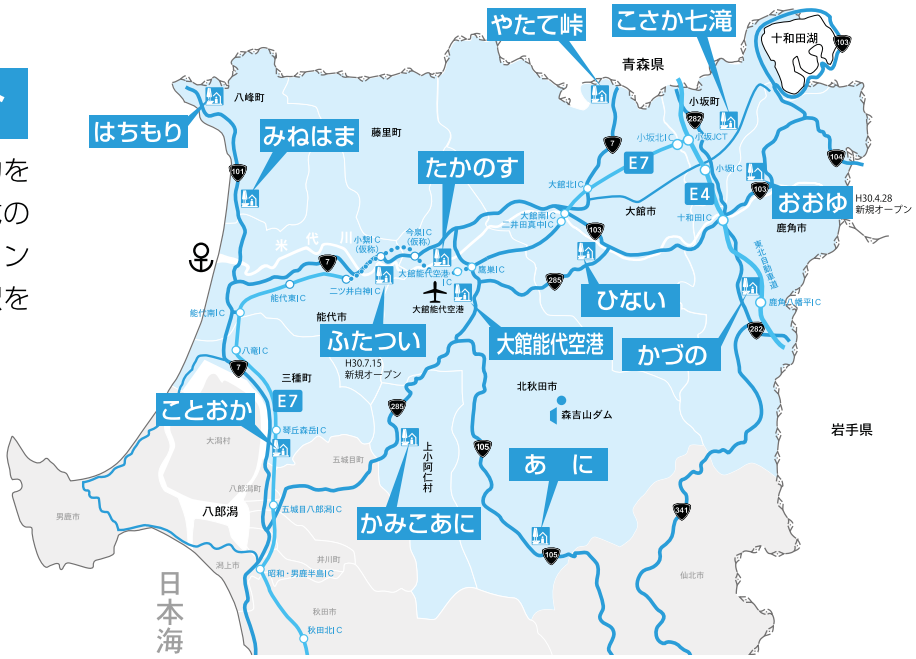
森吉山ダム広報館：開館時間9：00～16：00（※1）
喫茶コーナー「ねもりだ」：営業時間10：00～15：30（※2）
駐車場：20台　電話0186-84-8590
※1）毎週水曜日休館、冬期閉館（12～3月）
※2）土日祝日のみ営業（変更となる場合あり。事前にご確認ください。）



秋田県北の「道の駅」紹介

道の駅は疲れた体を休めたり、特産物を活かした食事ができるほか、道路や地域の情報も得られる総合的なキーステーションです。地域の特色あふれる県北の道の駅をご紹介します。

http://www.thr.mlit.go.jp/road/koutsu/Michi-no-Eki/thk-index.html
東北の「道の駅」ホームページ



7 道の駅「たかのす」
大迫力の世界一の大太鼓が迎えてくれる道の駅。
店舗･売店「大太鼓の里ぶっさん館」:営業時間9:00～18:00(12月～3月 9:30～17:00)
レストラン「どんどん」:営業時間10:00～18:00(12月～3月 ～17:00)
駐車場:171 台　電話:0186-63-2233

7 道の駅「ふたつい」
きみまち阪･恋文の里でリフレッシュできる道の駅。
店舗･売店、軽食コーナー:営業時間9:00～18:00
レストラン「koikoi 食堂」:営業時間11:00～18:00
駐車場:115 台　電話:0185-74-5118

7 道の駅「やたて峠」
天然杉に囲まれた温泉でのんびりできる道の駅。
店舗･売店:営業時間7:00～21:00
レストラン:営業時間11:00～21:00（朝7:30～8:30）
駐車場:69 台　電話:0186-51-2311

101 道の駅「はちもり」
疲れを癒す白神山地からの湧き水がある道の駅。
店舗･売店:営業時間9:00～18:00(冬期 ～16:00)
喫茶･軽食:営業時間9:00～18:00(冬期 ～16:00)
駐車場:36台　電話:0185-78-2300

282 道の駅「かづの」
きりたんぽ作りなどの体験コースが充実の道の駅。
店舗･売店:営業時間9:00～18:00(12月～3月 ～17:00)
レストラン「グルメ味館」:営業時間9:00～18:00
駐車場:322台　電話:0186-22-0555

7 道の駅「ことおか」
土笛づくりにチャレンジできる体験室が楽しい道の駅。
店舗･売店「グリーンぴぁ」:営業時間9:00～18:00
レストラン「たかいし野」:営業時間11:00～15:00
駐車場:127台　電話:0185-87-4311

285 道の駅「かみこあに」
秋田杉香る、ぬくもり感のある道の駅。
店舗･売店「物産センター」:営業時間 9:00～17:30
レストラン「秋田杉の館」:営業時間 10:00～20:00
駐車場: 72 台　電話:0186-77-3238

101 道の駅「みねはま」
ハーブの香りでリラックスできる道の駅。
店舗･売店「おらほの館」:営業時間 9:00～18:00(1月～2月～17:00)
レストラン:営業時間 11:00～16:00
駐車場:53台　電話:0185-76-4649

105 道の駅「あに」
またぎの文化に触れる道の駅。
店舗･売店「またたび館」:営業時間9:00～18:00(冬期 ～17:00)
レストラン:営業時間10:00～17:00（11月～3月～16:00）
駐車場:37台　電話:0186-69-2575

285 道の駅「ひない」
美味しい比内地鶏を堪能できる道の駅。
店舗･売店「とっと館」:営業時間 9:00～14:30
レストラン「ブルミエ比内」:営業時間 11:00～20:00
駐車場:50台　電話:0186-55-1000

2 道の駅「こさか七滝」
7段にわたって流れ落ちる「七滝」が見える道の駅。
店舗･売店「滝の茶屋 孫左衛門」:営業時間9:00～18:00(11月中旬～4月中旬 休業)
レストラン:営業時間9:00～18:00(11月中旬～4月中旬 休業)
駐車場:41台　電話:0186-29-3777

324 道の駅「大館能代空港」
人･もの･情報の交流拠点。空の玄関口の道の駅。
店舗･売店:営業時間9:00～18:15
レストラン:営業時間9:00～18:00
駐車場:448台　電話:0186-62-5330

103 道の駅「おおゆ」
源泉かけ流し足湯で縁が輪になる道の駅。
店舗･売店「おおゆえんがわショップ」:営業時間9:00～18:00
レストラン「大湯えんがわカフェ」:営業時間 11:00～16:00
駐車場:72台　電話:0186-22-4184



国土交通省東北地方整備局

能代河川国道事務所

〒016-0121　秋田県能代市鰄渕字一本柳97-1

URL　http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

E-mail　thr-noshiro01@mlit.go.jp

総務課
TEL.0185-70-1163　FAX.0185-70-1118
総務係

経理課
TEL.0185-70-1170　FAX.0185-70-1165
経理係・契約係

用地課
TEL.0185-70-1212　FAX.0185-70-1064
用地第一係・用地第二係

工務第一課
TEL.0185-70-1174　FAX.0185-70-1148
工務係

工務第二課
TEL.0185-70-1248　FAX.0185-70-1273
工務係・計画係・機械係

調査第一課
TEL.0185-70-1176　FAX.0185-70-1141
調査係・水防企画係

調査第二課
TEL.0185-70-1194　FAX.0185-70-1141
調査係

河川管理課
TEL.0185-70-1246　FAX.0185-70-1126
河川管理係

道路管理課
TEL.0185-70-1275　FAX.0185-70-1143
道路管理係・維持修繕係

担当課・係がわからない場合は
TEL.0185-70-1001（代表）
へおかけください

二ツ井出張所
〒018-3103　能代市二ツ井町荷上場字中島26　TEL 0185-73-5432　FAX 0185-73-5090

鷹巣出張所
〒018-3301　北秋田市綴子字柳中9の1　TEL 0186-62-1226　FAX 0186-63-0991

森吉山ダム管理支所
〒018-4512　北秋田市根森田字姫ヶ岱31　TEL 0186-60-7231　FAX 0186-60-7232

大館国道出張所
〒017-0864　大館市根下戸新町1の68　TEL 0186-49-0321　FAX 0186-43-5819

能代国道維持出張所
〒016-0121　能代市鰄渕字家の下19　TEL 0185-58-2919　FAX 0185-58-3149





R100
古紙配合率100%再生紙を使用
2019.4